

2023年  
3月号



## 奨学生3名にインターンがインタビュー

マンスリーサポーターの皆さま

今回のマンスリーサポーター通信は、ラオス事務所で一ヶ月インターンをした岡田龍之介が現地からレポートします。



首都ヴィエンチャンから国道13号線を50キロほど北上し、ヴィエンチャン県に入っすぐのところにあるポンサイ中等教育学校と、さらに10キロほど進んだところにあるサカ中等学校を訪問し、ラオスのこども（ALC）奨学金の奨学生3人にインタビューをしてきました。

今回訪問した二校はどちらも当会が図書室（ハックアーン）を開設した学校です。私はハックアーン図書室にお邪魔するのは初めてだったので、とてもきれいに整頓された本棚と展示に驚きました。本の人気ランキングや新しく加わった本の紹介の他、地球の構造など生徒たちの学びを助ける展示なども壁に貼り出されていました。また、サカの図書室は木の柱が並ぶ趣のある門構えも印象的でした。今回のインタビューもせっかくなので図書室で行いました。

### ラオス語の勉強が好き

ポンサイ中等教育学校で現在7年生（日本の高校3年生に相当）のK君は、今年で3期目の奨学生です。まずは学校生活について聞きました。

岡田：好きな科目はある？

K君：ラオス語です。僕はモン族なのでラオス語の勉強が好きです。

岡田：モン語とラオス語は全然違うんじゃない？

K君：そうですね。なのでラオス語の勉強は難しいですが、頑張って勉強してきたので、今は読み書きができるようになりました。それがうれしいですね。



きりっとした表情が印象的。

K君は、大家族がゆえに大変なことも多いようです。放課後は何をしているか聞くと、彼の家族は基本自給自足らしく、牛の世話や畑仕事などたくさんの仕事を家族とやっているとのこと。そんな状況もあり、奨学金のおかげで学校にも行けるし、家庭も助けられていると話してくれました。学校に通えなくなっていた時期もあったようですが、今は毎日学校に来て勉強しています、と笑顔を見せてくれました。

### ラオスの社会を良くしたい



最初は固い表情でしたが、徐々に冗談も。

続いては、同じポンサイのB君。同じく7年生(高校3年生)で、今年で4期目の奨学生です。嫌いな科目があるか聞いてみると、「嫌いな科目はないんですが、数学と化学は難しすぎて、、頑張らないとですね」と苦笑いしながら頭をかいていました。

コロナ禍中は携帯などを使ってオンラインで授業を受けることもありましたが、今は毎日学校にきて勉強できているとのこと。屋台の料理売りや工事現場の作業員などのアルバイトをしながら、学業と両立するB君。印象的だったのは、将来についての話です。

岡田：B君は将来やってみたいことはある？

B君：機会とお金があれば、進学して法律について勉強してみたいです。

岡田：どうして法律に関心があるの？

B君：ラオスの社会では、悪い人も多くてバランスが取れていないと思うんです。だから弁護士になりたいのですが、大変な道のりですね。

図書室にもよく来るようで、インタビューの順番を待っている間も熱心に本を読んでいた姿が印象的でした。ぜひ頑張って勉強を続けて、弁護士としてラオスをより良い国に導いてほしいです。

### 勉強が続けられることが嬉しい

サカ中等教育学校の6年生(高校2年生)になったNさんも今年が3期目の奨学生。ラオスでは授業一コマの時間が2時間あるときき、長くないかと聞くと、「先生がたくさん説明してくれるので長くは感じないですね。勉強したくない人には長いかも(笑)」と強気な発言。授業では先生が例を用いながら、生徒が分かるように何度も説明してくれるようです。

普段の生活について聞くと、家族は苦勞しているようでした。彼女が一日に使えるお金としてお母さんから貰っているのは5000キープ(40円程度)で、普段はそれでご飯を食べていますが、学校に書類を出す費用などが必要な時は昼食が食べられないこともあるそうです。

奨学金を貰い始めた当初は成績も三段階評価(1が上)で3などもありましたが、今は全部が1か2になり、英語と中国語の勉強に情熱を注いでいるそう。図書室にもよく来て、英語や中国語の本やラオスの歴史の本を読むのが日課だと教えてくれました。

岡田：将来やってみたいことはある？

Nさん：今頑張っている語学をもっと上達させて、家族を助けるためにも外国で働きたいと思っています！外国語をうまく使いながら俳優やモデルになれたらな～。



「勉強が続けられることがとてもうれしいです。日本のサポーターのみなさんには本当に感謝しています。」と語ってくれました。

### インタビューを終えて

今回のインタビューではそれぞれ厳しい経済環境で家族を支えながら、一生懸命勉強して将来を思い描く3人の力強さを間近に見ることができました。3人にはなんとか学校を卒業して次のステップに進んでほしいと心の底から強く思いました。

岡田龍之介 [大学4年生、ラオスの地域研究と言語を専攻。2021年度東京事務所で一年間、2023年2月にラオス事務所でインターンをおこなう。]

### ラオスのこども マンスリーサポーター通信 2023年3月発行

(認定) 特定非営利活動法人ラオスのこども 〒143-0025 東京都大田区南馬込 6-29-12, 303  
TEL&FAX 03-3755-1603 Email: alctk@deknoylao.net <http://www.deknoylao.net>

奨学生たちを支えるため、さらにサポーターの協力を必要としています。ぜひお知り合いをご紹介ください。  
マンスリーサポーターへのご寄付は、税金の控除を受けることができます。

